島根県立大学短期大学部出雲キャンパス
研究紀要　第４巻，47－55，2010

漫画の中の英語医療語と背景文化

田中　芳文・竹中　裕貴*

概　　要

現代アメリカ英語における医療語や，そこから派生した表現を分析した。主に，Mike Peters の漫画 Mother Goose & Grimm を素材に，アメリカにおいて日常的に使用されたり，注目を集めたりしている医療に関わる英語を取り上げ，それらの語や表現を理解するために必要であると同時に，特に英語を母国語としない，または英語文化圏の外にいる者にとって非常に大きな障害となる，言語文化的背景の考察を行った。

キーワード：Medspeak，医療語表現，漫画，商品名，言語と文化の研究

Ⅰ．序　　論

我々が日常的に触れる英語には，Medspeak と呼ばれる医療語表現が頻繁に現れる。しかしながら，それが Medspeak であることを認識すると同時に，その意味を正確に解釈することは非常に難しい。

Barack Obama 現アメリカ大統領の就任に先立ち，アメリカメディアは George W. Bush 前アメリカ大統領に関する総括の報道を多く行っていた。以下は *Washington Post. com* の “Leading Democrat : Bush ‘the worst president we’ve ever had’” と題された記事に寄せられた読者のコメントである（以下，例文中の下線は著者）。

（１）I really do believe Bush is <u>not all there</u> mentally.
（http://politicalticker.blogs.cnn.com/2009/01/04/leading-democrat-bush-the-worst-president-weve-ever-had/?fbid=Cf_eU-gbF3l）

この “not all there” という表現は，Medspeak であり，「精神状態が正気ではない」ことを表すスラングである。また口語表現として使用されることはあるが，実際のカルテに記載されることはないなどの制限も存在している（田中 2008）。（１）は，軍事を含めた Bush 前大統領のさまざまな政策は，正気の沙汰ではなかったと批判しているのである。

このような表現が有する意味や，使用される状況は，英語の Medspeak を収集し，綿密な考察を行うという作業を続けていくことでしか得られないものである。本稿では，そのような英語の Medspeak や，その背景に潜む文化について，Mike Peters の漫画 Mother Goose & Grimm を手がかりとして分析を行いながら，英語の言語と文化を正確に理解するための具体的な方法を示すことにする。

Ⅱ．本　　論

１．Betty Boop Clinic

（２）の漫画を見ると，１コマ目でトイレの水を飲んでいる犬の Grimm が Mother Goose に制止され，心の中で “Busted!”（ちぇ！）[1] と悪態をついている。

Grimm のこの悪習（toilet drinking problem）に嫌気のさしている Mother Goose は，彼を “cartoon rehab”（漫画［キャラクターのための］リハビリ施設）へ連れて行くというわけであるが，Grimm は “The Betty Boop Clinic”（ベティ・

*島根大学外国語教育センター英語科特別嘱託講師

（2）

図１　(http://www.grimmy.com/comics.php)

ブープのクリニック)へ行くのかと尋ねている。表面的な英語表現を一つ一つ追うだけでは，この漫画は理解できない。以下では，英語の言語と文化に関わるいくつかの点について取り上げ考察を行うことで漫画の解釈を試みる。

１）Betty Boop Clinic

まず，Betty Boop について確認する。これは周知のとおり，Grim Natwick が生み出したアメリカのアニメ（映画）に登場する（３）の画像のキャラクターである。

（3）

図２
(http://www.bettyboop.com/images/BB_on_Boat.gif)

1930年に初登場して以来人気を博し，アメリカ文化のみならず，日本を含む外国文化にも様々な影響を与えた。[2] 現在でもウェッブ上で商品が販売されており，今なお人気があることが窺える（http://www.bettyboop.com/）。

また，渋谷（1995）には，このキャラクターが「アニメで検閲にひっかかった」第１号であるという情報とともに，Betty Boop mouth（おちょぼ口）という，セクシーなベティ・ブープの口元を表す英語表現があるとしている。和英辞典にも，次の（３）のように，この表現を収録しているものもある。

（4）
おちょぼ口.
［米国漫画のベティーちゃんから］
（『プログレッシブ英和中』）

上記の表現を生み出した sex symbol としての Betty Boop のイメージは，さらに彼女の *Betty Boop for President* という映画の影響からか，アメリカ政治に関するニュースなどで，比喩としても使用されることもあった。一例を挙げれば，アメリカ副大統領の座が Sarah Palin と Joe Biden の間で争われていた2008年当時，*CNN* のレポーター Jeanne Moos は，スピーチの最中にウインクを繰り返す Palin を上記の映画の中の Betty Boop に例えている。

（5）

図３
(http://rawstory.com/rawreplay/2008/10/07/cnn-winking-sarah-palin-like-betty-boop)

２）Betty Ford Center

では何故“Betty Boop Clinic”という「架空」の病院名を Grimm は思いついたのか。こ

の問題については，下敷きとなっている，アメリカにおける Medspeak として重要な「実在」の固有名詞を知っておく必要がある。それは，Betty Ford Center である。山田（2005）では，すでに詳しく議論されている。以下一部を引用する。

> Gerald Ford 元アメリカ大統領の Betty Ford 夫人は，1987年に２冊目の自伝 *Betty: A Clad Awakening* を出版して，その中で長年関節炎の治療のため薬に依存してきたことと，さらにはアルコール依存症（alcoholic）であったことを告白した。実際，1978年に Long Beach（California）の海軍病院の Alcohol and Drug Rehabilitation Service で検査を受けることにやっと同意し，治療が始まった。これが Betty Ford Center for Drug and Alcohol Rehabilitation Service 設立の動機となった。1982年10月に，Rancho Mirage（California）に，よき友人であった Leonard Firestone 大使と共に Betty Ford Center を開設し，アルコールや薬物依存治療のための啓蒙・教育・治療に乗り出した。

また，“Betty Ford Center”が薬物やアルコールだけに縛られない，「リハビリ施設」という意味で一般化され，“A Betty Ford Center for ～”（～の[治療をする]ためのリハビリ施設）という意味で使用されることもある。

（６）

July 6, 2008

A Betty Ford clinic for jihadis

PlayStations, new kitchens and art classes are part of Saudi Arabia's softly, softly approach to rehabilitating terrorists

図４

(http://entertainment.ttimesonline.co.uk/tol/arts_and_entertainment/tv_and_radio/article4275042.ece)

（６）は，イギリスの *Times Online* の記事であるが，テロリストの社会復帰のための施設として以下の（７）のような表現が用いられている。

（７）A Betty Ford clinic for jihadis

また，もう一例挙げれば，以下の（８）がある。Amazon.com で本の批評などを手がけていた James Marcus が，本の著者にとって売り上げランキングがコカインのようなものであると比喩的に表現したうえで，以下の下線のように著者たちのための治療用施設があればと言っている。

（８）But I'm afraid that the sales ranking is sort of the crack cocaine of writers. People, once they start, they cannot stop. So I've looked a little bit. You get to the point where you think, God if only there was a Betty Ford Center for writers to go to and shake off their sales ranking addiction.
(http://www.seattlepi.com/business/179886_amomentwith29.html)

では，漫画の解釈に戻る。以上の言語文化的な背景を理解すれば，この漫画のおもしろさが分かるだろう。すなわち，Grimm が抱える問題は，「アルコール依存症（drinking problem）」ならぬ，「トイレの水依存症（toilet drinking problem）」であり，このため，Grimm を更正させようと Mother Goose はリハビリ施設へ彼を連れて行こうとしているのであったが，“We are getting you to cartoon rehab.”という台詞から Grimm が連想したのは，薬物やアルコール依存症を治療するための，実在する“Betty Ford”ではなく，“cartoon”から連想されるアニメのキャラクター“Betty Boop”という架空の施設名だったというわけである。

２．Botox

猫の Attila と並んで歩いている犬の Grimm が，“There's nothing more bizarre than a bulldog with Botox”（“Botox”したブルドッグほど奇妙なものはないよな）と言って後ろに

（9）

図５　(http://www.grimmy.com/comics.php)

いる「奇妙な」ブルドッグを見ている。どのような意味であろうか。まず，以下では“Botox”について確認する。

１）美容整形技術としての“Botox”

“Botox”という語については，多くの議論がなされている。既に世界的に広まっており，しわ取りのための注射を行う美容技術として女性だけでなく男性にも人気の手段として一般的になっている。山田ほか（2009）において，飯島（2009）は（10）のような資料を提示している。

（10）

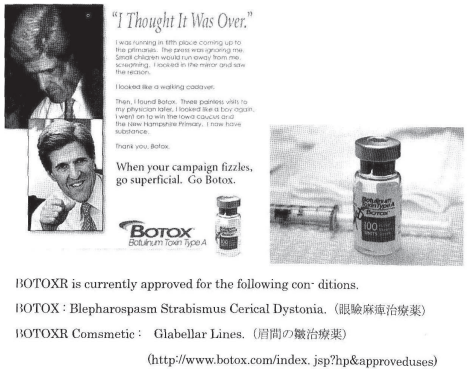

図６　山田ほか（2009, p. 353）

写真に写っているのはJohn Kerryで，選挙に行き詰まったおりに，Botoxでしわを取って救われたという内容であるが，写真を加工した偽の広告である。同氏がBotoxを使用したのではないかという噂をもとに作成され，インターネット上に公開されたものである。[3)]

（9）の漫画の著者であるMike Petersはこのほかにもいくつかの Botoxに関する風刺画を描いているが，（11）ではBotoxのための注射器をもった女性が登場し，子供への注意と患者への警告の対比が面白い。

また，*OED2*にある（8）の定義は興味深く，商品名としてのBotoxと同時に，派生表現として形容詞化した“Botoxed”も掲載されている。

（12）

Botox /ˈbəʊtɒks/ ▶ **noun** [mass noun] trademark a drug prepared from botulin, used medically to treat certain muscular conditions and cosmetically to remove wrinkles by temporarily paralysing facial muscles.
– DERIVATIVES **Botoxed** adjective.
– ORIGIN 1990s: from **BO**(**TULINUM**) **TOX**(**IN**).

Mother Goose & Grimm 12/19/2003

（11）

図６　(http://www.grimmy.com/archives.php?archive=MGG)

また，この商標の語形成が Bo (tulinum) tox (in) となっており，いわゆる省略語（clipped word）であることが分かる。

では，以上のことを踏まえて bulldog がどのような犬であるかを（9）で確認すると，この漫画が分かる。

(13)

bulldog ▶ **noun 1** a dog of a sturdy smooth-haired breed with a large head and powerful protruding lower jaw, a flat wrinkled face, and a broad chest.

OED2，s.v. bulldog

この記述から分かるように，ブルドッグを定義する上で重要な，しわのある顔（a flat wrinckled face）という特徴に合致しない，Botox によってしわがなくなってしまったブルドッグを Grimm は“bizarre”（奇妙な）という形容詞で表現し感想を述べていたのである。Mike Peters が何度も漫画の題材として取り上げるほど，Botox はアメリカ社会に浸透しており，そのようなアメリカ社会をこの漫画は風刺しているのである。

2）Botox とアメリカ政治

OED2 にも記載されていたように，Botox には Botoxed という形容詞としての派生表現が既に存在している。このような言語変化が生じていることから，Botox という商品名は使用されるアメリカ社会の中で比較的大きな影響を持つことが分かる。上記の加工された写真にあったように，写真やテレビ写りが選挙戦において重要なアメリカの政治家と Botox のつながりが取りざたされたことも，その一因となっているだろう。

また，John Kerry と同じように Botox というしわ取り技術を実際に使用したのではないかとという疑惑を持たれた政治家もいる。

2008年当時アメリカ民主党の副大統領候補だった Joe Biden のおでこが，突如として「つるつる」に，すなわち，Botox 治療を受けたようにしわがなくなったため，疑惑の報道がなされたのである。*Washington Post. com* でも以下（10）のようなタイトルと上に示した写真で，

(14)

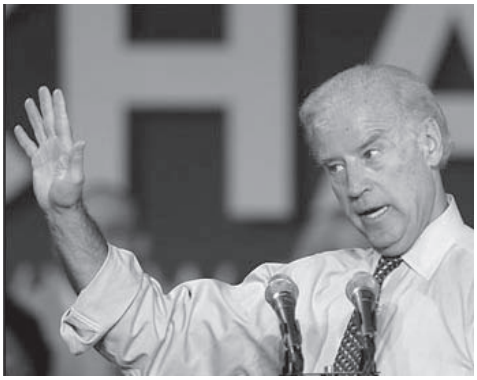

図8

http://media3.washingtonpost.com/wp-dyn/content/photo/2008/10/12/PH2008101201432.jpg

専門家の意見としてその使用を断定的に報じるものもあった。

(15) Barry Cohen, a Rockville plastic surgeon, is more blunt. “He clearly has had Botox,” the doctor, a Republican, told us.
（http://www.washingtonpost.com/wp-dyn/content/article/2008/10/13/AR2008101300107.html）

実際に，形容詞“Botoxed”の用法は，新聞などのメディアには確認できなかったが，より格式張らない言論の場では，頻繁に確認できる。以下の（11）は，上記の政治家達と同じように疑惑を持たれた Hillary Clinton に関わるものである。

(16) Did Hillary Look Botoxed Last Night?

図9

(http://bigheaddc.com/2007/10/31/did-hillary-look-botoxed-last-night/)

3．Dozital

Betty Ford Center に象徴されるような，違

(18)　Mother Goose & Grimm 1/15/2008

図10 (http://www.grimmy.com/archives.php?archive=MGG)

法に使用される薬物の問題から，医療現場で用いられる薬剤に関わるものまで，薬に関わるアメリカ社会の問題は，日々メディアの報道の中などにはっきりと見て取ることができる。記憶に新しいものには，Michael Jackson の死因に関する事件があり，Demerol や OxyContin などの医療に関わる英語商品名が（17）のように紙面に溢れた。[4)]

(17) Chernoff also told the AP that Murray never gave or prescribed Jackson the painkillers Demerol or OxyContin, and said the doctor didn't give the pop star any drugs that contributed to his death.
(http://www.washingtonpost.com/wp-dyn/content/article/2009/07/12/AR2009071200355.html)

共に鎮痛剤の一種であり，商品名（固有名詞）ながらいくつかの辞書に語彙項目として収録されているため，重要な Medspeak であることは間違いない。

（18）の漫画は，このような医療語が事件の一部として紙面を飾るようなアメリカ社会の現状を，皮肉をこめて描写したものである。

犬の Grimm がソファーでテレビを見ているが，“Try Dozital.”（“Dozital” をお試しください）という表現で始まるコマーシャルが流れている。このコマーシャルはさらに“Caution, Dozital may cause runny nose, coughing, wheezing, dry mouth, chafing, diarrhea, nausea and hair loss.”（注意。“Dozital”は鼻水，咳，喘息，口渇，皮膚疾患，下痢，吐き気や抜け毛を引き起こすことがあります。）と続いていく。最後に，Grimm が“Sold me”（買うよ）と言い，宣伝されている“Dozital”なる商品を購入する意思を示している。

1）“Dozital”とは何か？

まず，漫画の意味するところを解読していくためには，“Dozital”という，その副作用の数々から医療用であると思われる商品について考える必要がある。しかしながらこの単語は，一般の英英辞典や特殊辞典にも記述は見られない。なぜであろうか。

それは，これが漫画の著者である Mike Peters による架空の薬品だからである（Doz＋it＋al = Does it all）。すなわち，何にでも効果のある（it does all）という意味の薬であろう。

いずれにしても，架空の薬である“Dozital”は，この漫画の中で上記のような様々な副作用のあるものとして宣伝されている。確認しておきたいのは，副作用（side effect）を大々的に宣伝するようなテレビコマーシャルを作成するなどということは，通常は考えられないという点である。すなわち，アメリカでは副作用を明示するようにという法律による規制があるにせよ，ここまで露骨に列挙すれば，その薬が売れるはずがないのである。

“Do Cosumers Understand Drug Ads?”と題された *Time. com*（http://www.time.com/time/healtth/article/0,8599,1806946,00.html）は，これに関連して知っておくべきアメリカ社会の問題を題材として扱っており興味深い。記事は（19）

のようにはじまる。

(19) If you've ever watched television, you've seen plenty of drug ads. They urge you to take Lunesta to get to sleep, Lyrica to battle aches and pains, Cymbalta when "depression hurts."

アメリカにおいて，テレビのコマーシャルがいかに多様な薬を購入し使用するように宣伝しているかが分かる。また同記事は，アメリカの製薬会社が, 2008年の時点で年間50億ドル（"$5 billion a year to make sure you're hearing about their products"）もの金額を広告に費やしていることを指摘している。そしてさらに重要なのは，記事の以下の部分であろう。

(20) That's a feature common to most drug ads: they leave you confused about the information. The FDA states that DTC commercials must present a "fair balance" of the benefits and side effects of a drug, but it's obvious most don't.

薬の効能（benefits）と副作用（side effects）のバランスが，ほとんどの広告で取られておらず，さらには以下のような手法がとられていることが（20）では指摘されている。つまり，薬の副作用に関しては，広告の中で殆ど時間を割かないのである。以下の（21）はより分かりやすい。

(21) Drug ads are, not surprisingly, meant to sell products, not scare consumers off, so they're notorious for careening quickly through the obligatory list of the medication's risks.

以上は一例だが，アメリカにおける薬剤の広告の手法とその問題点がはっきりと分かるものである。

漫画の解釈に戻ると，この点が漫画をさらに滑稽に，面白くしていることが分かる。すなわち，漫画の中のテレビコマーシャルのように副作用の説明に時間を割くものはアメリカではまず存在せず，非常に違和感があるのと同時に，通常の広告手法に慣れ親しんだアメリカ文化の中に住む人々にとっては，この漫画はより可笑しく写るのである。また，Grimm は,「正直に」副作用を列挙する薬を買うよと皮肉っぽく言っているところがまた笑えるのである。

Ⅲ．結　　論

英語の漫画に現れるBetty Boop Clinic, Botox，Dozital を取り上げ，英語の Medspeak とその背景文化について明らかにした。このような英語の言語と文化に関する調査・研究を今後も継続していく必要がある。

【注】

1）"Busted" という表現については, スピアーズ・山田（2001, p. 78，s.v. busted）を参照のこと。

2）日本においても，キャラクター商品が発売されるなど人気があった。また味の素のイメージキャラクターとなったこともある（http://ja.wikipedia.org/wiki/ベティ・ブープ）。

3）この他にも，次のような写真もある。

図11
（http://www.freakingnews.com/Botox-Pictures-2541.asp）

4）この他，Demerol については，山田（1990）が詳しい。また，OxyContin については，田中（2005）がすでに取り上げ説明を加えており，また竹中（2009）では，Mr. OxyContin という表現が，アメリカの保守論壇の筆頭である Rush Limbaugh を表す表現として使用されていることも指摘した。

参考文献

Oxford Dictionary of English, 2nd ed, Revised, New York, Oxford University Press, 2005. [*OED2*]

プログレッシブ英和中辞典，第４版，小学館，2002.（『プログレッシブ英和中』）

スピアーズ，R. A.・山田政美（2001）：英語スラング辞典，研究社出版.

渋谷彰久（1995）：アメリカ英語背景辞典，第１版，小学館.

竹中裕貴（2009）：アメリカ文化が生み出す固有名詞の特殊表現, 英語の言語と文化研究，第14号，pp. 39-51.

田中芳文（2008）：現代アメリカ英語の医療語を追って(5)，英語の言語と文化研究，第11号，pp. 15-33.

山田政美（1990）：英和商品名辞典，研究社.

山田政美（2005）：英語の言語と文化12講，英語の言語と文化研究論叢第８巻，英語の言語と文化研究会.

山田政美・田中芳文（2000）：英語メディカル用語辞典，講談社インターナショナル.

山田政美・田中芳文・飯島睦美・竹中裕貴・落合るみ子・谷さつき（2009）：英語の言語と文化研究法，英語の言語と文化研究論叢第16巻，英語の言語と文化研究会.

インターネット資料

Betty Boop

Retrieved June 5,2010，from http://www.bettyboop.com

Retrieved June 5,2010，from http://www.bettyboop.com/images/BB_on_Boat.gif

Retrieved June 12,2010，from http://ja.wikipedia.org/wiki/ベティ・ブープ

Big Head DC

Retrieved June 1,2010，from http://bigheaddc.com/2007/10/31/did-hillary-look-botoxed-last-night/

Freaking News

Retrieved June 10,2010，fromhttp://www.freakingnews.com/Botox-Pictures-2541.asp

Mother Goose & Grimm

Retrieved May 5,2010，from http://www.grimmy.com/comics.php

Retrieved May 5,2010，from http://www.grimmy.com/archives.php?archive=MGG

seattle pi

Retrieved June 1,2010，from http://www.seattlepi.com/business/179886_amomentwith29.html

Times Online

Retrieved June 13,2010，from http://entertainment.timesonline.co.uk/tol/arts_and_entertainment/tv_and_radio/article4275042.ece

Time. com

Retrieved June 9,2010，http://www.time.com/time/healtth/article/0,8599,1806946,00.html

Washington Post.com

Retrieved May 7，2010，from http://politicalticker.blogs.cnn.com/2009/01/04/leading-democrat-bush-the-worst-president-weve-ever-had/?fbid=Cf_eU-gbF3l

Retrieved June 1，2010，from http://media3.washingtonpost.com/wp-dyn/content/photo/2008/10/12/PH2008101201432.jp

Retrieved June 1，2010，from http://www.washingtonpost.com/wp-dyn/content/article/2008/10/13/AR2008101300107.html

漫画の中の英語医療語と背景文化

Medspeak in American Cartoons

Yoshifumi TANAKA and Yuki TAKENAKA*

Key Words and Phrases：Medspeak, Cartoon, Brand Names, A Study of Language and Culture

---

*Shimane University, The Center for Foreign Language Education, Special Part-Time Instructor.